

事業名	がん診療連携拠点病院機能強化事業費		
細事業名	ゲノム解析センター研究事業費	財務コード	833102
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課	口腔保健支援センター 担当 (内線)	3503

事業の概要

実施期間	始期 H25 年度 ~ 終期 H29 年度		
実施主体	補助(地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院 ゲノム解析センター	遺伝子解析研究において、患者の遺伝子情報を蓄積し、臨床情報との関連を分析する研究機能の確保が図られている	県民への高度ながん医療の提供
事業の内容 主にH26年度	<p>質の高いがん医療を提供するため、県立中央病院に開設されたゲノム解析センター(平成25年4月開設)で行う研究の費用に対し、補助を行っている。</p> <p>がんの化学療法に対するオーダーメイド医療を推進するには、患者等の協力のもと、生体資料を保存・分析し、これらのデータを活用し、経時的・長期的に遺伝子情報を収集する必要がある。そのため、研究機能の安定化を図り、研究効果を県民に還元するための体制を確保することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助先：独立行政法人山梨病院機構 山梨県立中央病院</li> <li>補助率：定額</li> <li>補助対象事業：山梨県立中央病院ゲノム解析センターが実施する遺伝子解析研究</li> </ul>		
根拠法令等	山梨県ゲノム解析・研究事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度		26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標	ゲノム解析センターにおける解析件数	337	337	313	313	313	目標設定の考え方 実績値を基に、前年度と同件数を目標値とする。 データの出典等 実績報告書
	活動指標達成率(実績値/目標値)	92.9 %					
成果指標	学会発表数	4	4以上	9	4以上	4以上	目標設定の考え方 国内研究機関・大学等の学会発表、投稿論文数の年間平均発表数を参考にし、センターの人員数で按分 データの出典等 実績報告書
	投稿論文数	0	2以上	2	2以上	2以上	
	成果指標達成率(実績値/目標値)	183.3 %					
決算額又は予算額(千円)		20,000		20,000	20,000	20,000	成果指標によらない成果
うち一財額		20,000		20,000	20,000	20,000	
所要時間(直接分)		77 時間		42 時間	42 時間	42 時間	
所要時間(間接分)		0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計		77 時間		42 時間	42 時間	42 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)		158		86	86	86	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

**活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)**

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		研究開始から2年目ではあるが、遺伝性乳がん卵巣がんに関連する遺伝子を始め、県立中央病院において実存のがん患者を対象とした臨床と結びつく遺伝子解析を実施し、遺伝子カウンセリングを含めた研究だけに留まらない環境整備が行われている。 がんを未然に防ぐ予防医学の実現には至っていないものの、研究成果を示す学会・論文発表も、既に一般的な研究者による発表数を上回るペースで行われており、本県のがん診療連携拠点病院として質・機能の向上が図られ、県民への高度ながん医療の提供へ寄与している。 以上のことから、意図した成果を十分に上げている。
a	a	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄  
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり		

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること